

○「五穀牛」販促イベント、美味しさを直接アピール—21世紀肉牛研究会・農獣協

群馬県のブランド牛肉「五穀牛」の生産者らが、自分たちの生産した牛肉の美味しさを消費者に知ってもらおうと3～5日、東京・府中市の食品スーパー「さくらコマース」で開かれた販促イベントに参加、自ら買い物客に五穀牛の美味しさをPRした。

五穀牛は、飼料に米、麦、粟、黍、豆といった穀物を与えているほか、広葉樹の樹皮を原料とした植物性混合飼料「スーパーネッカーリッチ」を配合しているなど自然素材を多く与えており、コレステロールが低く、アッサリして甘みのある脂が特徴。また、農場管理獣医師協会から「FMVA認証牛」として第三者認証を受けている。同店では4年ほど前から五穀牛を取り扱っており、「すでに定番化され、お客の認知度も高い。フェアを定期的で開催するなどしてファンも広がっている」(宮雄次取締役事業部長)という。

当日は、ステーキや焼き肉、ブロックなど1パック800円で販売。五穀牛の生産者である「21世紀肉牛研究会」(埼玉、群馬にまたがる生産者団体)の会員をはじめ、五穀牛の第三者認証を行っている農獣協の事務局も参加した。特設会場に設けられた販売ブースでは肉牛研究会のハッピーを着込んだ生産者らが試食を振る舞い、

直接、買い物客に五穀牛の美味しさや生産の特徴、FMVA認証の理念などを説明していた。



＝写真。売り場には多くの買い物客でにぎわい、なかには「いつも美味しく食べている」とまとめ買いするお客も見られた。

生産者の(有)ミヤシタの宮下只史会長は「我々の顔を見てもらうことが大切で、安全・安心のために日々努力していることなど生産者の思いを伝えていきたい。厳しい経営環境だが、消費者から直接『この間食べて美味しかった』との声を掛けられて、とても励みになる」とし、生産者、流通、消費者との良い関係を構築していきたいと語っていた。宮事業部長も「農獣協との連携を深め、FMVA認証牛としてのPRもしていきたい。五穀牛を牛肉のメイン商品として取扱いを広げ、店側からもブランディングをしていきたい」と述べていた。

○味の素との販促コラボ「菜愛メニュー」を10月から展開—伊藤ハム

伊藤ハムは、味の素との合同販促「菜愛メニュー」企画を今年10月から実施する。「菜愛メニュー」企画は、両社の製品を使って簡単に作れる、現代の食生活に不足しがちな「野菜がたくさん摂れ、栄養バランスの良い、おいしいメニューを提案」する企画。旬の野菜の出回りに合わせて、両社が共同で開発した毎月の「菜愛メニュー」を全国の小売店の売り場を通じて展開、それぞれのホームページに掲載し、訴求していく。

また、「菜愛メニュー」企画の統一ロゴマー

クも作成した。「最愛の家族に健康を」との両社のメッセージをロゴマークに込め、企画の内容・メニューを消費者に分かりやすく伝達する。

「菜愛メニュー」の第1段として10月からスタートする、「新だんらんスタイル!ポットプレートで「菜愛蒸しメニュー」」企画では、普及率が80%以上のホットプレートを有効的に活用し、旬の野菜がたくさん食べられ、しかも簡単に調理できる「蒸しメニュー」を提案する。11月以降も毎月秋冬の旬の野菜を使ったスープやポトフなどのメニューを提案していく。

○ エスフーズが10月に広島フレッシュ石井の事業を譲受

【大阪発】エスフーズ(村上真之助社長)は3日、今年10月にフレッシュ石井(広島市、石井ユキコ社長)の全事業を譲受する、と発表した。フレッシュ石井は1968年に創業、広島市を中心に食肉卸売事業を展開しているが、後継者問題などがあり、またエスフーズは中国地

方における営業力の強化を図るため、両社が合意したもの。

<株式会社フレッシュ石井>△設立=88年11月7日△資本金=1億円△従業員=47名△業績=08年12月期売上高21.8億円、営業利益700万円△事業譲受日=10月1日。